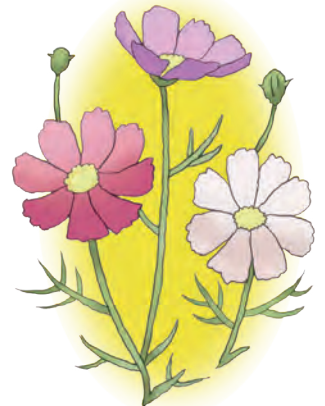


てんぎょう 轉教

2016 9 SEPT

平成 28 年 9 月 1 日発行
第 17 卷第 10 号 通算 199 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



題 字：水谷日尚上人
(Web 版)

ご奉公のこころ

祈願のたて方

次世代の人々に信心を伝える第一歩は、祈願を書いてもらうことから始まります。これまでにむくりかえしお伝えして来たように、平穩無事^{へいおんぶじ}は当たり前ではない、健康に過ごせるのは当

り前ではない。お守りいただいているからこそ今日の健康があると日頃から家族に語り伝えておけば、祈願をかける習慣を通じていつか必ず「どうかお守りください」と御題目におすがりす

水谷 信 洋

る信心が芽生えます。

日蓮聖人は祈禱経送り状というお手紙の中に『一切法華経に其の身を任せて金言の如く修行せば慥かに後生は申すに及ばず、今生も息災延命にして云々』と示され、謗法の穢れなく御本尊に向かい南無〇経と一心に口唱すれば広宣流布の願いは必ずや成就すると仰せになっています。

また、佛立開導日扇聖人の御教歌には、『おのが身の為の口唱の万遍は法のところに叶はざりけり』とあり、人を助けんとする口唱が却って我が身の為となる、とお示しになっています。つまり、信者は自分の願いだけにとど

まらず、人の幸せを願って御題目を唱えれば、必ず諸天のご守護をいただいて所願は叶うと教えていただいているのです。

そこでお寺では、全信者に共通して立てていただきたい祈願内容として、「佛立本旨講弘通隆昌発展、開講本旨再興の御願」という祈願を奨励しています。これは佛立本旨講創立の基本理念です。一人残らずの信者が「開導聖人御開講の本旨を再興したい」という佛立本旨講創立の基本理念をよくご理解いただきたいのです。

その次に重要なのが「開講本旨再興日尚上人報恩ご奉公成就の御願」で

す。宗門の不正問題を機に開講本旨再興のご奉公を決断なさった日尚上人のお陰で、今日の我々妙應寺教講の存在があるのです。その日尚上人への報恩といえ、開講本旨再興のご奉公をわれわれが受け継ぎ、少しでも発展させることをおいて他にはありません。家族にもこの祈願を立てる習慣を語り伝えていただければ、日尚上人を直接ご存じない世代の方々にも報恩ご奉公を受け継いでいただくことが出来ます。

「佛立本旨講妙應寺弘通発展の御願」が大切なのは申すまでもありません。これらの基本的祈願を土台として病人の応援祈願、また自らの所願を祈れば、

先師上人の教え通りの信心を持つのですから、きつと現証御利益を感得させていただけます。

法華経普賢菩薩勸発品第二十八に
『所願虚しからじ。亦現世に於いて
其の福報を得ん』とあります。また、
安楽行 品 第十四には『諸天昼夜
に常に法の為の故に而も之を衛護し
云々』と諸天善神が妙法を唱える信者
を守護するという誓いが述べられています。
祈願のたて方をもう一度見直し、
家族にも語り伝えましょう。

9月のご奉公のすすめ

「江の島の光物にて疑ひのむねのくもりぞはれわたりぬる」と教えて頂くように、お祖師様の竜の口御法難という現証利益の根本があればこそ、お題目が今に伝わり、我々も、さまざまな苦難を妙法口唱で乗り越える信念が持てるのです。この信念を以って今年度のご弘通のテーマ「お助行」の充実につながるようにご奉公させて頂きましよう。

一、随喜転教について

9月は防災の月です。「備えあれば憂いなし」といいます。お戒壇・家具等の固定を見直し、日々「火盗病不慮の諸難をまぬがれて如説信行弘通成就」の願いを込めた祈願をすすめあい、朝夕のお看経をおこたらない、現証御利益の頂けるご信心の絆を広めましょう。

・「開講本旨再興祈願」朝参詣週間 1日(木)から7日(水)

9月の寺内行事予定表

| | |
|--------|------------------------|
| 1日～7日 | 開講本旨再興祈願 朝参詣週間 |
| 1日(木) | 開講本旨再興祈願総講 午前10時半 |
| 2日(金) | 秋季彼岸総回向 お塔婆・ご回料申込締切 |
| 3日(土) | 運営会議 午前9時半 |
| 4日(日) | 竜の口御法難記念口唱 会 午前9時半 |
| 10日(土) | 連合幹事会 午前9時半 |
| 13日(火) | 後続者育成係連絡会 午前10時半 |
| | 高祖大士御命日総講 午前10時半 |

二、竜の口御法難記念五時間口唱会

9月4日(日) 午前9時半から午後2時半まで、本堂にて五時間口唱会が開催されます。家族や次世代の方々とお祖師様の



イラスト 妙証会東武Iさん

おかげを話し合い、報恩感謝の口唱会への参加をすすめますよう。

三、秋季彼岸総回向

秋の彼岸総回向の法要は、9月22日(木) 本堂で 午前10時より、午後1時から六角堂で勤まります。両親・祖父母・ご先



17日(土) 開導聖人御命日総講

午前10時半

19日～25日 秋季彼岸朝参詣週

間

22日(日) 秋季彼岸総回向法要

(本堂) 午前10時

同 (六角堂) 午後1時

24日(土) 高祖会奉修費、御供米

料奉納、参詣人数申込

締切

25日(日) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

正副教区長会

午後12時半



祖のおかげに感謝し、志厚くご
回向をさせて頂きましよう。お
塔婆・ご回向の申込みは9月2
日（金）までに教区でとりまど
めて寺務所にお納め下さい。尚、
お塔婆は、本堂用、六角堂用共
に一本五百円です。

四、高祖会の予告

秋のお会式「高祖会」は、10
月16日（日）に厳修されます。
私たちが日々お守り頂いて生活
できるのも、寂光参拝のよろこ
びがいただけるのも、みなお祖
師様のおかげです。感謝する気
持ちで、教区班内の家族後続者
の方々を丁寧に参加将引させて
頂きましょう。

新しいAEDを設置しました



7月1日に2階和室にて A
ED（自動体外式除細動器）の
講習会が行われ、教務さんを含
め20名が参加しました。参加
者一同、万一の時は皆様のお役
に立つことを確認しました。

実際に体験して、緊急の場合に
対応したいと思います。」と語っ
ていました。

参加した方は、「説明を聞き、

宗教法人「佛立本旨講
妙應寺」設立公告につ
いて



AED操作の後には、心臓マッサージ・
人工呼吸が必要になります。

このたび、宗教法人法の規定
による宗教法人「佛立本旨講妙
應寺」を設立することになりま
したので、同法第12条3項の規
定によって公告文を、佛立本旨
講妙應寺の掲示板に8月1日か
ら12日まで公告しました。
お問合せは事務局まで。

御法様がいらっしやるだけで安心感があります

大井大森教区 Yさん

御本尊拝受式が
新本堂で厳かに
行われました



品川連合・大井大森教区のYさんが新たに御本尊を拝受され、その拝受式が新本堂で厳かに執り行われました。

教区長のWさんは、「この度は、御本尊拝受、おめでとございます。良かったですね。ご両親の気持ちを思うと、本当に嬉しく思います。みんなで応援させていただきますね」と。

教化親で、父親のYさんは、その喜びを次のように語っています。「親にとって、信行相続は最高のご奉公です。この度は一歩前進と言う気持ちで、ご奉公

させて頂きました。本当のご奉公は、これからだと思っております。皆様の応援よろしくお願ひします。」

担当御講師の神野照報師からも、「よかったですね」と皆さんから沢山の応援の言葉をいただきました。

マンションに最適

小御本尊



こんな素敵な小御本尊。ポリカーボネイトのケースは堅牢で御本尊をお守りします。

心が一つに向かった 開導会を奉修



予定人数を大幅に上回るお参詣ありがとうございました。皆さんが待ちに待った新本堂で初めのお会式を奉修させていただきました。

いただきました。天候にも恵まれ、皆さんのいきいきとした笑顔、ご奉公者の一寸の隙も見せない気配りがあふれた一日でした。



山門幕がみなさんをお出迎え

山本事務局長挨拶（一部抜粋）



「像様」をお祀りできると、地理的に

これまで、皆様より新本堂の要望をお聞きしてきました。まずは、目黒本堂でお祀りさせて頂いていた「大御本尊、御尊

は山手線沿線、坂道が無く駅に近い事、せめて家族葬が行える事等が出ました。

今ここに、新本堂のお計らいを頂いたわけですが、ここが最終目的ではありませんと、ご教導頂いて居ります。あくまでも通過点で有ります。御奉公基盤が定まった訳です。

ここから弘通広宣の御奉公に向かつて邁進させて頂こうではありませんか。

ビデオのご案内

同日上映されました「日扇聖人と御懐旧談」はこちらをご覧ください。

<https://youtu.be/nbYiyXUV16M>

DVDをご希望の方は事務局まで。

私の感激を一言で

鷹番教区 Oさん 91歳

桐生から来ました。朝8時に出て、11時に着きました。熱中症が心配でしたが、御法様に守っていただけると思っていました。(写真左3段目)

大阪教区 Mさん



御導師のご法門はプロジェクターでの字幕付き。



御供養は2階ホールで



桐生からお参詣Oさん(右端)



モニターで堂内隅々まで



車椅子でもゆったりとお参詣

改めて目黒での御本尊、ご尊

大阪教区 Mさん

12月に定年になるので、鳥取に戻ろうと思ってます。今度は鳥取からご奉公です。昨日の夕看経にお参詣、今朝も朝参詣をしましたが、新本堂に来るのに地図を見ながら迷っていたらまたま上村さんにお会いして連れてきてもらえました。

久し振りの事でした。

会式参詣も、記憶にないくらい

札幌に住んでおりますと、お滞在している機会に開導会にお参詣させていただくことができました。この度、東京の娘のところへ北海道教区 Mさん 像にお会いできてうれしさがこみ上げてきました。

夏季総回向法要厳修



盛夏、新しくなって初めての夏の総回向が、本堂において午前10時より、事教院六角堂では12時半より奉修されました。



新本堂には初めてという若い方の感激の場面もあり、114名のお参詣、六角堂には68名のお参詣でした。

35℃の猛暑でバスの中も31℃の暑さでした。六角堂本堂での山本事務局長の力強い励ましの言葉もあり、霊堂での御看経後には大勢でテント片付のご奉公もさしていただく元気さで、3時半には本駒込に帰着しました。



平成28年7月の寺内行事報告

- 1日～7日 開講本旨再興祈願朝参詣週間
- 1日(金) 開講本旨再興祈願総講 午前10時半から奉修
- 2日(土) 運営会議 午前9時半から開催
- 9日(土) 連合幹事会 午前9時半から開催
- 〃 後続者育成連絡会 午前10時半から開催
- 10日～16日 開導会無事奉修 祈願朝参詣週間

夏期参詣

で頂いたエネルギーを、今年後半の奉公に大いに活かしていきたいましよう



梅雨の最中の夏期参詣ですが、一か月間の統計を見ますと、今年は雨の日は6日間で、お天気に恵まれました。

全信徒念願の新本堂のお計らいを頂いて、広々した本堂には、御導師の力強いお題目口唱に合わせて軽快な法鼓が響き、集中した勤行が、毎朝勤まりました。お参詣状況は、ご家族、ご夫婦の共連れ参詣、そして男子信徒のお参詣が例年になく多く、皆さん明るい笑顔、足取りも軽くお参詣されていました。

(弘通課)

12日(火) 夏季総回向御回向・

御塔婆申込締切

13日(水) 高祖大士御命日総講

午前10時半から奉修

16日(土) 開導会準備ご奉公

午前9時半から実施

17日(日) 開導会

第一座 午前10時から奉修

第二座 午前11時半から奉修

24日(日) 開講本旨再興祈願

口唱会

午前9時半から奉修

若い人の口唱会

午前10時半から奉修

25日(月) 門祖聖人御命日総講

午前10時半から奉修

正副教区長会

午後12時半から開催

31日(日) 夏期参詣終了

教区設立と共に

栃木教区 Kさん

私は四十三年間勤めた会社を退職しました。

改めて、いままで歩んできた人生を振り返ってみますと、全て御信心のお導きのお蔭だと思っています。大学の四年間はお寺の青年会で御奉公、信者として青春を謳歌しました。あわや就職浪人かと云う時も、お計らいを頂きました。また、仕事の関係で住まいが変わりましたが、そこには教区がなく、親元の教区

に所属することになりました。

しかし、御講不参で御信心が懈怠しました。そんな時に、教区の発足という縁に結ばれ、御信心に力が入るようになりました。

二十五、六年前の川口・浦和教区と十年前の栃木教区がその例で、ありがたいことに二回も教区発足の御奉公をさせて頂きました。

教区発足の御奉公をさせて頂

くと、会社の環境も良い方向に変わりお計らいを頂くのです。

大きな困難もなく、乗り越えることができ、数々のお計らいを頂き、会社も家庭も円満でした。

四十三年間勤め上げることができ感謝しております。

在職中は帰宅時間が遅かったため、朝の勤行は出来ても、夜の勤行が全くできませんでした。退職後は朝夕の勤行がしっかり出来る様になり、また教区内のお助行も毎月出きるようになりました。

これからは時間もありますので恩返しのお奉公に励むとともに、地域社会に対しても貢献したいと思っています。

寂光本堂 本堂寂光

名古屋教区 Mさん (九十四歳)

昨年も帰りの切符はないものと命がけて四番町のお寺に、お参詣をさせて頂き寂光浄土の心地を味あわせて頂きました。

今年、新法城にお参詣をさせて頂けるとは、夢にも想っては居ませんでした。娘夫婦のサポートを受け乍ら老人三人揃って、果報を頂き心より嬉しく存じて居ります。

さて、私は90歳の折突然、脳梗塞でたおれ、おはからいを頂

いて立ち直る事ができました。

今はリハビリテーション「リフィット」と云う所に連日通所いたして居ります。

利用者は千差万別です。皆さんの健康回復と併せて、正法婦入を御祈願させて頂いて居ります。来世でも必ず御題目をお唱えする人になる事を信じて、日在メールを読んで、お話しをさせて頂く事に専念しております。ケイタイが鳴ると「アッ東

す。

京のお坊さんからだ」と集まって来て読む人も沢山います。

リハビリの先生の中からも、お講にお参詣された方や、病に罹りご祈願して、お寺で言上して頂いた方もいます。

私は最高齢ですが、いつもメイキャップをして、爪を赤く塗り、ピンク等の明るい色の服を着る様に、心がけて通所して居ります。

今では、他のお爺さんやお祖母さんもおしゃれして通所して居ります。皆がとても明るくなりました。

下種の想いをこめて私の人生経験もふくめて、いろいろなお話をさせて頂いて居ります。

お助行はコミュニケーションの機会

報告者 千葉中央教区 Nさん

五月五日十二時半より、千葉中央教区の内盛渉席にて、第一地区後続者育成助行があり、席主のUさんはお仕事や地域の役員などをされていて多忙の中を快く受けてくださって、当日は

ご夫婦と三男のAさん、そして千葉連合より四名参加されました。

Uさんは今年から甲御講の席主になられ九月にお席を初めて頂くので、初の甲御講席の前に、一度他所のお席にお参詣させて頂きたいと言われ、そこで丁度

八月には次世代のKさんがお席を頂かれますので、そこにお参詣させて頂いて、実際の甲御講の様子を見ておけば、勉強になりますとのことで、お参詣の約束が出来ました。

さらに、Kさんのお席の甲御講では、当日Wさんが御導師の御迎えご奉公をさせて頂くことが後日決まり、本当にうれしいお助行になり感激です。

反省点としては、当日席主の家族の方に大事な事をお伝えする事を忘れてしまい、又、当日



質問を受けて、返答に困ったので何かマニュアルのようなものを作ってお渡ししたいと考えています。いずれにしてもお助行はコミュニケーションがとれる機会なので、次回からは内容をキチンと決めてさせて頂かねばと実感致しました。

★こどもたちの会★

「あれ?ないね!」

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>お母さんのご先祖のご回向も漏れがないが、しっかり調べてごらん。</p> | <p>え?! ご回向?! そういえば...</p> | <p>あらら?! 耳の前のほっぺが腫れてるけど、どうしたんだろ~?!</p> | <p>お母さん 痛いよ~</p> |
| <p>気付かされて良かったわ!! さっそくご回向させて頂けなすま! 様月が経つ日、の近くに</p> | <p>え?! そんなに大きな手術になるんですか?!</p> | <p>頬の下に袋があり、そこにウミが溜まっています。全身麻酔をして、取ってしまおうと良いですよ。</p> | <p>え?! そんなに大きな手術になるんですか?!</p> |
| <p>あれ?! ウミの袋が無いです!</p> | <p>え~?! 無いいね?!</p> | <p>ウミを出して調べてみましょう!</p> | <p>2件目の病院でも、暴れない様にタオルでグルグル巻きにされて...</p> |
| <p>色々沢山の事を教えて頂けたネ!</p> | <p>今回の事で、毎朝のお参詣の大切さ、お護り頂けるありがたさ、おすっきりする大切さを教えて頂きました。</p> | <p>やはり手術をしてウミの溜まっている袋を取ってしまうのが良いですね。半年後には手術をしましょう。</p> | <p>二人なりに痛い思いをするなら...</p> |
| <p>本当に良いご利益を頂けて良かったネ!</p> | <p>娘もニコニコ笑顔で、おれのお着経を上げさせて頂きました。</p> | <p>大丈夫よ! ご祈願して縁のあった病院なんだから。</p> | <p>最初の病院に決めたやえ良かった! わ~! お母さんのせいよ~!</p> |

